⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑸　長期借入金
これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定しています。
⑹　未払金
短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

（資産除去債務の注記）

1．資産除去債務の内容
⑴　内装、設備（梅田ゲートタワー）
建物賃貸借契約に伴う原状回復義務です。
⑵　統合研究棟
定期借地契約に伴う原状回復義務です。
⑶　職員宿舎
法令にもとづくアスベスト処理費用です。

2．支出発生までの見込期間、適用した割引率等
使用見込み期間を契約期間及び残存耐用年数にもとづき見積もり、割引率は期間に応じた長期国債利回りを使用しています。

3．資産除去債務の総額の期中における増減内容

変　動　の　内　容	当事業年度における総額の増減
当事業年度期首残高	80,047千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	0千円
その他	1,729千円
当事業年度末	81,775千円

4．貸借対照表に計上していない資産除去債務の内容、債務を合理的に見積もることができない理由
本学は建物内で放射線物質を使用しており、放射線廃棄物として廃棄処分することが義務付けられています。しかし、汚染状況の検査結果により除染作業等を行うこととなるため、将来の資産除去債務を合理的に見積もることができません。そのため、当該債務に見合う資産除去債務は計上していません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

（その他）

金額の端数処理は、項目毎に四捨五入を行っているため、合計額と合致しない場合があります。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	60,852,569	1,686,924	82,594	62,456,900	20,984,618	2,568,446	538	—	—	41,471,743	
	構築物	4,043,422	96,769	4,179	4,136,012	1,374,644	151,918	—	—	—	2,761,368	
	機械装置	121,378	—	—	121,378	114,314	3,725	—	—	—	7,063	
	工具器具備品	2,236,515	23,433	44,273	2,215,675	1,811,489	86,920	—	—	—	404,187	
	船舶	342,440	—	20	342,420	336,680	3,722	—	—	—	5,740	
	計	67,596,324	1,807,127	131,066	69,272,385	24,621,745	2,814,731	538	—	—	44,650,101	
有形固定資産（特定償却資産以外）	建物	28,291,454	813,799	1,900	29,103,352	12,032,615	1,402,409	47,875	47,875	—	17,022,863	
	構築物	914,155	58,367	—	972,521	302,784	45,335	—	—	—	669,737	
	機械装置	573,281	27,775	—	601,056	458,286	57,583	—	—	—	142,770	
	工具器具備品	26,424,519	2,881,350	661,569	28,644,299	20,300,925	3,317,088	—	—	—	8,343,374	
	図書	21,385,120	278,650	68,133	21,595,638	—	—	—	—	—	21,595,638	
	船舶	62,483	—	—	62,483	55,743	3,345	—	—	—	6,740	
	車両運搬具	51,174	—	—	51,174	49,263	2,176	—	—	—	1,912	
	計	77,702,185	4,059,941	731,602	81,030,524	33,199,616	4,827,936	47,875	47,875	—	47,783,033	